

第9回 地球研フォーラム

私たちの 暮らしのなかの 生物多様性

2010.7.10 [SAT]

13:30-17:00 / 12:30開場 入場無料

国立京都国際会館 Room D

(京都市左京区宝ヶ池、地下鉄烏丸線 国際会館駅下車)

今年度は生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が名古屋市で開催されます。この条約は、生物多様性の保全・利用・利益分配に関する事柄を国際的に取り決めたもので生態系・生物多様性の危機に国際的に対処しようとしています。総合地球環境学研究所は、人間と自然の相互作用の研究をすすめるなかで、この条約にも大きく関連した内容を扱ってきました。このCOP10の機会に、人々の暮らしと生物多様性にはどのような関係があるか、生物多様性の危機を救うためにどのような取り組みがなされているのか、私たちは何ができるのかを一般の方々に紹介したいと思います。

1 生物多様性条約とはなにか

香坂 玲 ● 名古屋市立大学 准教授

2 携帯電話とゴリラ

—身近で見えない意外な繋がり—

岡安直比 ● WWF Japan 自然保護室長

3 食卓の上の多様性 —おコメ、和牛、そして桜—

佐藤洋一郎 ● 総合地球環境学研究所 副所長・教授

4 持続的利用と収奪的利用を分つもの

湯本貴和 ● 総合地球環境学研究所 教授

5 衡平な利益分配を促す市場のメカニズム

大沼あゆみ ● 慶応義塾大学 教授

パネルディスカッション

【司会】山村則男 ● 総合地球環境学研究所 教授 阿部健一 ● 総合地球環境学研究所 教授

私たちの暮らしのなかの生物多様性

PROGRAM

■ 開会挨拶 立本成文 (たちもと・なりふみ) / 総合地球環境学研究所所長

■ 趣旨説明  **生物多様性はなぜ大切なのだろうか？**

山村則男
(やまむら・のりお)

総合地球環境学研究所・教授。生物の行動や社会の進化、生物の数の変動について、理論モデルを使って生態学的研究を行ってきた。現在は地球研のプロジェクト「人間活動下の生態系ネットワークの崩壊と再生」のリーダーを務め、マレーシア熱帯林とモンゴル草原を例にして、人間と生態系の相互関係の研究に取り組んでいる。

■ 講演  **生物多様性条約とはなにか**

1

香坂 玲
(こうさか・りょう)

名古屋市立大学大学院経済学研究所・准教授(環境経済、環境マネジメント担当)。近自然的な林業や倒木・枯損木について研究してきた。国連環境計画生物多様性条約事務局に勤務。COP10 支援実行委員会アドバイザー。森林分野での林業と生物多様性の保全や活動について国際的な動向を調査している。その他、名古屋市など都市部での生物多様性の指数化について研究中である。

2

携帯電話とゴリラ —身近で見えない意外な繋がり—

岡安直比
(おかやす・なおひ)

WWF(世界自然保護基金)ジャパン自然保護室長。専門は霊長類を初めとする森林生物多様性保全。アフリカの大型類人猿、特にゴリラの社会生態研究に従事する過程で、コンゴ共和国のゴリラ孤児院に出会い、院長を務める。気候変動問題から持続可能な林産物の普及まで、日常生活に密着した幅広い問題に取り組んでいる。

3

食卓の上の多様性 —おコメ、和牛、そして桜—

佐藤洋一郎
(さとう・よういちろう)

総合地球環境学研究所副所長・教授。植物遺伝学の立場から稲の起源の研究を進め、1992年には従来の説を否定、「ジャポニカ長江起源説」を発表した。現在は地球研のプロジェクト「農業が環境を破壊するとき—ユーラシア農耕史と環境」のリーダーを務め、「遺伝的多様性」をキーワードに、農業の未来を考えている。

4

持続的利用と収奪的利用を分つもの

湯本貴和
(ゆもと・たかかず)

総合地球環境学研究所教授・多様性領域プログラム 主幹。専門は生態学。熱帯雨林や照葉樹林における動物と植物の相互関係の研究に従事。現在、地球研のプロジェクト「日本列島における人間・自然相互関係の歴史的・文化的江検討」のリーダーを務め、草原の歴史や里山の評価などに従事。新しいコモンズのあり方を模索中である。

5

衡平な利益分配を促す市場のメカニズム

大沼あゆみ
(おおぬま・あゆみ)

慶應義塾大学経済学部教授。ロンドン大学およびケルン大学の客員教授を歴任。専門は環境経済学。持続可能性の観点から、おもに生物多様性保全の経済システムを研究している。訳書にターナー他「環境経済学入門」(東洋経済新報社)などがある。

■ パネルディスカッション 香坂 玲、岡安直比、佐藤洋一郎、湯本貴和、大沼あゆみ

[司会] 山村則男



阿部健一
(あべ・けんいち)

総合地球環境学研究所教授・地球地域学領域プログラム 主幹。専門は政治生態学。

【申込方法】 はがき、FAX、E-mailにて、●郵便番号●住所●氏名●電話番号●参加人数を明記の上、下記「地球研フォーラム事務局」までお申し込みください。お寄せいただいた個人情報、地球研が開催する催しの案内に利用させていただきます。

【応募締切日】 6月28日(月) 定員(250名)に達した場合には、応募を締め切る場合があります。

【申込先・お問い合わせ先】 〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4 総合地球環境学研究所 研究協力課 地球研フォーラム事務局
電話 (075)707-2492 FAX (075)707-2510 E-mail: forum@chikyu.ac.jp

フォーラム会場は、地球温暖化防止対策への取り組みのひとつとして、室温を高めに設定します。みなさまも軽装でお越し下さい。